

シグマ研究委員会

昭和55年度第1回運営委員会議事録

日 時 昭和55年4月4日(金) 13:30~17:30
場 所 原研本部第7会議室
出席者 塚田(委員長、日大)、中嶋(法大)、松延(住友原工)、
大竹(動燃)、関(MAPI)、久武(東工大)、飯島(NAIG)、
原田、更田、田中、五十嵐、菊池(康)(原研)
オブザーバ: 川合(NAIG)、松本、浅見(哲)(原研)

配布資料

1. 前回議事録(55.2.15)(案)
2. 「JENDL-3計画」答申案
3. JENDL-3検討小委員会会合議事録(案)
4. Preliminary Proposal to the U. N. Interim Fund for Science and Technology for Development
5. Proposed Agenda for 41h Meeting of the NEA Data Bank Committee
6. FP核データWG 55年度計画
7. 核融合核データWG 55年度計画

議 事

1. 前回議事録確認
資料(1)により確認を行い、若干の字句訂正で了承された。
2. 事務局報告
 - 1) 本委員承認の投票結果: 32名中29名の回答があり、すべて「諾」で正式に承認されたことが報告され、また、回答に付された2~3の意見の紹介があった。
 - 2) 55年度の核データセンター関係の実行予算の説明があった。

3. JENDL-3 検討小委員会報告

原田氏から、これまでの経緯ならびに資料(3)をもとに3月3日の「JENDL-3 検討小委員会」の概要について説明があった後、JENDL-3 計画の答申案(資料(2))の説明が行われた。要点は次の通り

- (1) JENDL-3 の作成は55～58年度、ベンチマーク・テストを59年度に行い、59年度末に完成させる。
- (2) JENDL-3 の内容として (a)エネルギー範囲の上限は特殊なものを除き20 MeVとする。(b)核種・反応の種類等はアンケート調査を行って決める。(c)データ評価に当たっては、データの質の向上、とくに角度分布、スペクトルデータの改善を、また、ガンマ線生成核データを採り入れること、高いエネルギーの中性子反応断面積の精度の向上が必要である。
- (3) covariance file は最優先の少数核種についてのみ作成する。
- (4) special file はとくに作成しない。
- (5) JENDL-3 の作成に当たっては、マンパワーの確保が最重要である。

これらに対して論議が行われ、とくに、加速器増殖関係のデータを含めることの是非、covariance file についての結論の是非に関し討議があった。また、マンパワーの問題まで小委員会でつめる必要がある等の意見が出た。これらに対して原田氏より、アンケート調査を行った後で小委員会で継続して検討したいとの発言があった。

4. 56年度予算要求

田中氏より、原研核データセンターからの56年度概算要求ではJENDL-3 整備費、調査委託費の増額、研究会費等を考えているが、とくに要望があったら出して欲しいとの要請があった。これに関連して核データ専門誌の問題が出たが、この件は本委員会で各委員の意見を聞いてみることにした。

5. 1980 研究会

田中氏より、本年度の研究会をどうするかとの発議があり、これに対してJENDL-2 検討会、測定関係の討論会、spallation neutron source に関する研究会等が挙げられたが、この件は次回以降の運営委で検討することにした。

6. 次回本委員会の議題の整理

期日は6月27日(金) 11:00～(東京本部)とすることにし、主な議題として

- (1) 運営委員会報告(1年間の議事録を綴じたものを説明用資料とする。)
- (2) 事務局報告(核データセンター予算、新年度委員、国際会議報告等)
- (3) 専門部会活動報告及び活動計画

(各専門部会毎に30分の割当てでハイライトを中心に報告する。

やり方は各専門部会毎に検討して決める。)

- (4) JENDL-2の現状
- (5) JENDL-3の構想
- (6) 主査の選出

をとり挙げることにした。

7. 55年度WG活動計画(Ⅱ)

- (1) FP核データWG

川合氏から資料(6)を用いて概要の説明があった。55年度では、JENDL-1 FPデータの再評価を行うとともに核種の追加を行い、評価が終了した核種毎に積分テストを行ってJENDL-2 FPファイルを実施させる。

- (2) 核融合核データWG

浅見氏より資料(7)を用いて概要の説明があった。軽・中重核データWGに併合される以前の形に戻り、核融合炉開発に必要なデータの調査ならびに要求データの現状調査を中心に行う。

8. ハンガリー会議報告

塚田氏よりハンガリーのDebrecenで開かれたJAEA Consultants' Meeting on Properties of Neutron Sources for Standard Studrisについて報告が行われた。

9. 第4回NEA Data Bank委員会

田中氏から資料(5)により、予定されている議題の説明があり、意見・希望があったら出して欲しいとの要請があった。今度の会合ではlonger term projectionsが議題の中心になるので、NEAの他の委員会と連

絡をとる必要のあることが指摘された。

10. その他

中嶋氏より、学会の編集委員会で重複投稿論文の問題を検討しているとの説明があった。

次回は5月2日（金）13:30より原研東海研で行う予定。